

令和5年度 生物活用シラバス

科目	総合実習（生物活用）	年次	4	教科書	生物活用	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版	前期38時間・後期38時間	

学習目標

身近な暮らしの場における植物栽培や自然や環境の知識と活用技術を習得させ、園芸植物や生物教材を用いた交流活動とともに園芸療法・動物介在療法などの応用を理解させるとともに、生活の質の向上や健康の改善を図る能力と態度を育てる。

主な学習内容

1. 園芸に活用と効果について理解する。
2. 草花の栽培と活用について理解する。
3. ハーブ類・多肉植物の機能・効用について理解する。

授業について

身近な植物教材（草花・ハーブ・多肉植物）などを用いて、園芸のもつ多様な効果について学習します。またその栽培方法と活用法について学ぶ。

定期考査・課題・提出物

学 期	前 期	後 期
考 査	中間考査、学期末考査を実施	中間考査、学期末考査を実施
試験範囲	1. 暮らしと園芸 2. 園芸作物の活用方法	1. 草花の特性と活用 2. 多肉植物、ハーブの特性と活用
提出物	授業毎のファイル、作品等	授業毎のファイル、作品等

評価の観点

観 点	内 容
関心・意欲・態度	学習用具の準備 授業への取組状況や態度 課題学習ファイル記録簿
思考・判断・表現	課題学習ファイル記録簿 レポートの提出 他人との協調性
技能	調べ学習 統計・インターネット
知識・理解	定期試験 豆試験 学習ノートの提出

※ 評価の方法... 授業への積極的な参加（出席）定期テスト（知識）、学習態度（意欲）、提出物等を総合的に評価し、成績とします。